

# 事業者のごみ減量・リサイクルについての取り組み報告 < 小売店 >



事業者活動部会部会員の小売店の中から、小売店のごみ減量・リサイクルについての取り組みについて取材を行いました。

< 取材店 >

リブレ京成堀切店（葛飾区堀切 1-27-1）

写真：リブレ京成堀切店

## 商品の容器包装

### 〔ばら売り・裸売りの取り組み〕

- ・キウイ、グレープフルーツ、メロン、スイカ、りんご、ネーブルなどの果実類はほとんどばらや裸売りを行っている。
- ・キャベツ、大根、レタス、アスパラ（結束）、かぶ（結束）などは裸売りを実施しており、カットした野菜などは衛生確保のため包装されてる。
- ・ジャガイモ、ニンジン、キュウリ、玉葱などは、袋づめの他に必要な数だけばら売り実施している。
- ・水産品ではサンマ、うなぎ、いわしハンバーグなどはばら売りを実施し、揚げ物のお惣菜、天ぷらなどは、ばら売りを実施している。



裸売りのレタス（上）  
ばらうりのジャガイモ（下）



（左）ばら売り・裸売りされている果実類





ばら売りのお惣菜類

### 〔ばら売り・裸売りの現状と課題〕

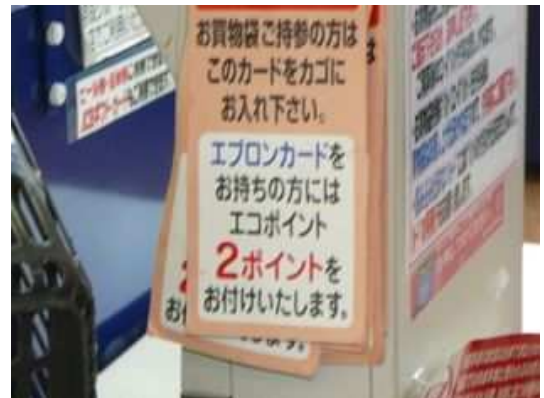
トレイや包装材は昨年より約20%の値上がりをしており、店舗全体でも約100万円/月の経費が必要となっている。そのため、店舗としても容器包装を減らしていきたいが、包装をしないことによって、お客様の商品の取り扱いによっては商品そのものに傷がついたり、販売できない状況になってしまうことがある。そのまま放置すると商品の質が悪く見られると共にそれを買って帰った場合はクレームにつながるので、そのようなものは包装をし、商品の劣化を避けざるを得ない状況だということです。

廣瀬友則店長は、容器包装削減には事業者の努力とお客様の理解の両方が必要であるということをお話ししていました。

## レジ袋削減の取り組み

### 〔レジ袋削減の取り組み〕

- ・マイバッグ持参でポイントカードに2ポイントを付加するサービスを実施している。
- ・社員にも率先してエコバッグを使用するように指導をしている。
- ・2年程前、リブレ京成自体も京成電鉄のキャラクターが入ったマイバッグを約1,300枚無料配布し、現在でもそのマイバッグを利用してくれるお客様は多い。



マイバッグで買い物に来たお客様はこのカードをかごに入れると2P付く

### 〔レジ袋削減の現状と課題〕

夕方の時間には、現在約5人に1人の割合でマイバッグを持参してくるお客様がいる。今でも無料配布したバッグを持ってお買い物に来るお客様も多いとのこと。

レジ周りのレジ袋やビニール袋で年間160万円ほどかかっているため、マイバッグ持参は喜ばしいことだが、一方で万引きをしやすい状況にもなるので、難しいところがある。

## その他のごみ減量・リサイクルの取り組み

ごみ減量やリサイクルについて次のような取り組みも行っている。

- ・商品梱包の段ボールは集積して日2回収。一部、お客様の便宜のために提供している。
- ・生ごみは食品リサイクルと生ごみに分別し、処理業者に処理を委託。業者からの要望もあり、紙やビニ



お客様も使えるダンボール箱

- ールテープが混入しないように厳格に分別を行っている。  
社員には分別について十分理解するよう指導している。
- ・水産物の発泡スチロールが通い箱として行き来しており、何回も使用している。
  - ・商品の残量についてはデータによる管理をしているので、廃棄物の量はここ数年大きく変わっていない。



水産物の通い箱として使っている発泡スチロールの箱（左下）

徹底した分別で保管しているごみ・資源の置き場（右上・右下）

